

終末の信者(マルコ 13:1-8)

信者でも現実につまずき、落胆して心細くなる理由の一つは、人生のテーマが変わっていないからです。初代教会の弟子たちも、イエスが復活されたあと40日の間、オリブ山で神の国のことを語られたのにもかかわらず、その後での質問は自分たちの国の再興のことでした。そのような肉的な問題の解決をテーマにするのではなく、信者として、人生テーマはどうあるべきなのかを見てみましょう。

1. たましいの救いを人生のテーマにする信者は、時代を正しく見て、主と共に歩む最高の人生を生きる。

テーマはイスラエルの再興ではなく、たましいの救いです。テーマが変わると、見ることの解釈も変わって来ます。

1) 時代は終末-本格的な救いの時代

イエスが十字架で完了され、よみがえられたので、いまはすべての国の人々が救われる新しい時代が始まりました。そのサインがエルサレムの神殿の破壊です。それが終末のスタートで、すべての国の人々、すべての民族に福音が伝えられ、救いに定められた人々がすべて救われるとき、救いの完成とともに終末は終わります。

2) 時代(終末)のテーマは福音宣教(たましいの救い)

すべて完了された勝利の主が復活され天の御座に着かれ、救われるべきたましいを救われる時代なので、たましいの救い、福音宣教が時代のテーマです。神様は先に救われた信者、教会を通して救いを「今」成し遂げておられます。その神様の時代のテーマと自分の人生のテーマを一致させましょう。

3) サタンの暴れは終末のサイン

終末はサタンにとっては、いちばんいやで大変な時代です。サタンの国をつぶし、神の国を建てたましいの救いを成し遂げられる時代なので、サタンは暴れます。偽キリストがたくさん現れ、戦争のうわさ、自然災害、気候変動、飢饉、飢えなどとともに、クリスチャンには迫害があり、家族からも裏切られることもあります。大患難の時が来るので、ほんとうに苦しい時が来るのです。それはサタンが暴れているので、終末の時代のサインです。ですから、あわてることなく、たましいの救いを握り、残りの生涯、福音宣教にささげるようにしましょう。

4) 「目を覚ましていなさい」「テーマを忘れるな」

終末を生きていることを忘れてはならないということです。テーマは、たましいの救い、福音宣教だけです。

2. たましいの救いを人生テーマにする信

者は、すべてを超越する巡礼者の人生を生きる。

1) 問題解決や苦難、患難、戦争、迫害に縛られず

人生のテーマがたましいの救いなら、問題がどうであっても乗り越えられます。問題に縛られない超越した歩みになります。なにがあっても、たましいの救いのテーマには、何も支障がなく、すべてを通してたましいの救いは成し遂げられるからです。病気や家庭崩壊などの困難のときの解釈の鍵は、神様の目標です。そのときこそ、何のために生きるのか生きる目標、目的を自分に素直に問いかけましょう。そして、only キリストとなる神様の答えを受けて、超越して歩む巡礼者の歩みを進みましょう。

2) 再臨のタイムにこだわらず

また、必ず来られるのですが、それがいつかはわかりません。弟子たちが、今こそイスラエルを再興してくださいますかと問うたとき、イエス様はあなたがたは知らなくても

良いと言われました。

3) 使徒 1:8 だけにこだわり

ただテーマは力を持って地の果てまで証人となることです。ただ聖霊の力、神の国にこだわり、自分と現場に神の国が臨んで、暗闇が崩れることだけに集中すれば良いのです。テーマを使徒 1:8 に絞りましょう。

4) 集中の内容が変わる

そうすれば、神様に、御座の祝福に集中するように集中の内容が変わります。地上のことに執着する必要はありません。

私はだれなのか、何のために生きるのかと問いつつ、自分の目線から神の目線に変えましょう！人生のテーマを正しくして、たましいの救い、福音宣教にしましょう。そのように神様と方向が一致し、時代とマッチする主人公の人生を歩みましょう！そのために、聖餐の告白と信仰の宣言を自分のものとして真剣に告白しましょう！

1 部-マルコ 13:1-8 終末の信者

なるほど/今は終末であり、時代のテーマは魂の救いであることがわかる信者は、人生のテーマが変わり、時代の主人公として、最高の超越の人生を生きることが出来る。ならば/神の目線で自分と自分の人生を見つめ直して、神様と時代にマッチする信者になるう！

2 部-ヨハネ 3:16-17 信者の祈り

なるほど/信者には生かす祝福が用意されているので、御座の祝福を持って、教会と世界、3 時代を生かすことを祈り、答えられる特権がある。

ならば/「神様は、すべての人が祝福されることを願っておられる」を大前提に生かすことが出来る証人になることを祈ろう！